

西部パレット利用者連絡会ニュース

【発行】西部パレット利用者連絡会幹事会

【発行日】2010年12月19日 NO.8号

● 11月30日 県より「2年間現状維持」の結論 出る！！

西部パレットの今後のあり方について県と話し合いを続ける中、利用者連絡会は「縮小は仕方がないが、西部パレットがザザシティの中にあることの価値を理解して欲しい」と声を出しました。

しかし、11月30日に出された県からの回答は、なんと、8月の「西部パレットの今後を考える県民会議」で多数の参加者が希望した「現状維持」というものでした！！ 2年間という期間限定の措置ですので、不安は続きますが、まずは大歓迎です！ また、その結果に沿って県は、この2年を運営管理する指定管理者公募の手続きも開始しました。

今後、県としては協議会を設け、浜松市にある同様の施設の使い勝手も含めた話し合いを県や指定管理者、利用団体、関係諸機関との間ですすめていきたいそうです。某新聞社の記事の中に、「西部、東部のパレットでいずれも市内団体の利用が3割を超している現状があるので、広域活動団体に必要な施設を提供する県施設と、市の類似施設との機能分担が必要と県は判断した」とコメントが出ていました。

新しい公共の担い手として多様な活動が期待されています。行政も企業も、市民も願うのは幸せな社会づくりであることに間違いはありませんが、それぞれの役割が違います。それぞれの役割分担をどう果たしていくべきか、県の施設であるべきかそれともそうでなくてもよいのかを含め、確かに丁寧な意見交換をしながら、互いに考え、行動することが大切だと思います。

市民の自主的な社会参加活動の土台作りを励むNPOの皆さん！ 今後の話し合いへの積極的な参加を是非ともお願いします。

.....「現在地での西部パレット存続を希望」 電子署名で寄せられた様々な声を紹介します.....

★障がいのある方々の気軽に集まれる市街地にある環境はとても貴重だと思います。バリアフリーが考慮された現在地での継続使用を強く希望します。

★高校時代に大変お世話になったので署名させていただきます。今の場所にあるからこそ、私も利用しましたし、多くの高校生が立ち寄っているのだと思います。これからもより多くの人々が利用することを願っています。様々なひとが集まり、すれ違い、場所を共有する、まち中だからこそこれができるのだと思います。

★小学生の母親です。ザザには、「パレット」も「こども館」もあり、まさに「バリアフリー」な建物だと思っていました。これからの未来を担う子供たちにとって、「パレット」と同じ建物で活動するという意味は大きいと思います。ノーマライゼーションの精神が自然に養われていく素晴らしい環境だと思います。ここで、「パレット」だけを移転となると、せっかくフリーになった壁をまた作ってしまうように感じてなりません。「パレット」のような施設こそ、だれもが気軽に利用できる場所に共存すべきだと思います。官庁内では、利用する人が限られますから.....

**第7回利用者連絡会は、
2011年1月29日（土）午前10時から開催します。**

内容：役員改選、県や指定管理者との協議等について